

第3・4学年体育科学学習指導案

東温市立拝志小学校 授業者 T1：宇都宮 健太

T2：弓立 隆弘

1 日時 令和6年6月5日（水） 2校時 9：25～10：10

2 場所 体育館

3 単元名 表現「からだで絵日記」

4 単元目標

- 表現の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、身近な生活などの題材から主な特徴や感じを捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ることができるようにする。 【知識及び技能】
- 自己の能力に適した課題を見付け、題材の特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- 表現運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

5 指導観

(1) 子どもについて

本学級の子ども（第3学年：男子8名、女子4名 計12名、第4学年：男子3名、女子9名 計12名）は、体育科の授業において、意欲的に学習に取り組んでいる。5月末に開催された運動会に向けて、ダンスの練習に進んで取り組み、休み時間で手本の動画を見ながら練習に励む姿が見られた。体育学習、そして表現運動に意欲的に取り組む子どもの様子は、体育学習に関する事前アンケートの結果（10段階評価）にも表れている。「表現の授業は好きですか。」の問いに対して、7割以上の子どもが「8」以上の肯定的な回答をし、全体の平均値も8.5と高水準であった。また、「友達と協力しながら、体を動かすことは好きですか。」の問いに対しても同様で、7割以上の子どもが「8」以上の肯定的な回答をした。

一方で、「苦手でも好きでもない」「ちょっと苦手である」などの理由から、表現運動や友達と協力することにやや苦手意識をもつ子どももわずかではあるが存在する。学級全体として、表現したり友達と協力したりすることを好む子どもが多いという実態を踏まえ、友達とつながることのよさを感じながら表現する楽しさを味わわせたい。

(2) 教材について

表現運動は、自己の心身を解放して、イメージやリズムの世界に没入し、なりきって踊ることが楽しい運動である。また、互いのよさを生かし、友達と交流して踊る楽しさや喜びに触れることのできる運動でもある。中学年の表現運動は、「表現」及び「リズムダンス」で構成されている。本単元は「表現」に位置付けられているが、心と体をほぐす運動としてリズムダンスも取り入れる。

本単元では、子どもが動きの特徴を捉えやすくなり、多様な動きを表現できるように、身近な生活場면을題材として取り上げる。例えば、洗濯や行事などの場面はイメージしやすく、動きを創造しやすくなると考える。子ども同士がイメージを共有し、一体感を感じながら表現運動に取り組むことは、表現したい感じを誇張したり、変化を付けたりしながらイメージの世界に没入することにつながる。さらに、“速さ”、“タイミング”、“高さ”、“人数”、“空間”などの要素を意識して表現ができるよう、題材選びを工夫したい。

(3) 指導について

単元を通して、授業の導入時にリズムダンスを行う。リズムダンスには、表現運動が苦手な子どもも安心して運動できるように、運動会で踊ったダンスの曲を使用する。教師や友達の動きを真似したり、複数人で踊ったりして人との関わりを楽しみながら、徐々に子どもの心と体をほぐしていくことに加え、主となる表

現運動につながるような動きも取り入れたい。

「表現」では、「からだで絵日記」と題して、自分の生活場面を表現させる。子どもが互いに表現を見せ合い、フィードバックを行う時間を積極的に取りながら活動を進める。第1時では、題材として「風船・新聞紙」を扱い、表したい感じを、動きの質感や形状の変化を付けて誇張したり、複数人で表現したりして学習を進めたい。第2時以降は、子どもの日記を参考にして、題材を決定する。題材と出合う場面では、子どもがもつイメージを共有した上で、教師が用意した動画や音を示し、表現方法を考えさせる。例えば、「波」という題材であれば、多様な波の様子を示すことで、大波や小波、連続して押し寄せる波などの感じを想起させたい。体を動かす場面では、友達と一緒にに行ったり見せ合ったりしながら、よい動きを伝え合えるようにしたい。第4時までは、身に付けさせたい動きに応じて題材を変えつつ、同じ流れで学習を積み重ねる。様々な題材を通して、表現方法を増やししながら、多様な質感の変化を表現できるようにしたい。

また、単元の終末には、グループごとの発表会をすることを子どもと共有し、目的意識をもって活動させる。表現内容や形式は子どもと相談して決定し、子どもが学習したことを生かして主体的に活動できる場を設定したい。

また、指導に当たっては、第3学年及び第4学年での2年間で実施する表現運動における指導事項について下記のように計画し、実施と評価を行っていくものとする。

		表現 (3年) からだで絵日記					表現 (4年) そわいし探検隊					リズムダンス (3年)					リズムダンス (4年)				
指導事項		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
知識及び技能	表現運動の行い方を知る	●					●					●					●				
	表現運動の行い方を知る																				
技能表現	題材の主な特徴を捉える		○		○			○		○											
	動きの質感や形状の変化を付けて誇張した動きをする		●	○	○	○		○	○	○	○										
	二人で対応する動きを繰り返す	○	○	○				○	●												
	表したい感じをひと流れで即興的に踊る			○	●	○			○	○	○										
技能リズムダンス	ロックやサンバなどのリズム(後打ちやシンコペーション)の特徴を捉える			※				※				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	へそを中心にリズムに乗って全身で弾いて踊る	※							※	※			●					●			
	弾き動きにのじる・回る動きなどの変化を付けて踊る		※	※				※	※						○	○				○	○
	友達と関わり合って、手をつないで回り、くぐりぬけたりして踊る			※	※				※					●					●		
思考力、判断力、表現力等	自己の能力にふじた課題を見付ける			●					●				●					●			
	題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫する		○	○	○	●			○	○	○			●					●		
	課題解決のために考えたことを友達に伝える		○	●	○	○		○		○	○				○	○				○	○
学びに向かう力、人間性等	表現運動を通して取り組む	●	○	○	●			●					●						●		
	誰とでも仲よく活動する	○	●	○	○	○			○	○	○				●						●
	場の設定や用具の片付けなどを友達と一緒に行う		○		●	○				○	○		○		○		○				○
	友達の動きや、楽しく踊るための友達の考えを認める				○	●				○	○			●					●		
周囲の安全を確かめて踊る					●	○				○		○			○			○	○	○	

●重点指導機会 ○複数回での指導機会 ※評価対象とせず指導する機会

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 表現運動の行い方を理解している。 ○ 身近な生活などの題材から、主な特徴や感じを捉えることができる。 ○ 表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ることができる。	○ 自己の能力に適した課題を見付け、題材の特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫している。 ○ 課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	○ 表現運動に進んで取り組もうとしている。 ○ 誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ○ 友達の動きや考えを認めようとしている。 ○ 場の安全に気を付けている。

7 単元の指導計画及び評価計画

時	子どもの活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1	○ オリエンテーションを行う。 ○ 心と体をほぐす。 ・リズムダンスを行う。 「風船・新聞紙」の△△な感じを表現するにはどうすればよいだろう？ ○ 表現「からだで絵日記」を行う。 ・「風船・新聞紙」というテーマから浮かべるイメージを出し合い、思い付くままに踊る。	○ 子どもが楽しく活動が行えるよう、称揚の声を多く掛ける。 ○ 運動会で踊った曲など、踊りやすい曲を使用することで、表現運動の苦手な子どもが踊れるようにする。 ○ 表現の仕方を言葉でまとめたカードを作る（表現カード）。 ○ 次時の参考になるようなイメージサイコロを準備しておく。 ○ 教師も一緒に表現を楽しむ中で、表現方法のヒントを与える。	○ 表現運動の行い方を理解している。＜知・技＞（観察） ○ 表現運動に進んで取り組もうとしている。＜態＞（観察）
2	○ 心と体をほぐす。 ・リズムダンスを行う。 「波」の△△な感じを表現するにはどうすればよいだろう？ ○ 表現「からだで絵日記」を行う。 ・イメージサイコロを使って即興的に踊る。 ・よい動きを見付け、友達と伝え合う。	○ 体を上下に使って表現できるように見本を見せたり、声掛けをしたりする。 ○ 題材の特徴の捉え方をみんなで考える場を設ける。 ○ 動きの誇張や変化の付け方のヒントとなる動きづくりや言葉掛けを行う（硬く・柔らかく、大きく・小さく、繰り返す、数の増減など）。 ○ 振り返りで、動きのポイントを共有する。	○ 誰とでも仲よく踊ろうとしている。＜態＞（観察） ○ 動きの質感や形状の変化を付けて誇張した動きをする ＜知・技＞（観察）

3	○ 心と体をほぐす。 ・リズムダンスを行う。 「花火」の△△な感じを表現するにはどうすればよいだろう？ ○ 表現「からだで絵日記」を行う。 ・イメージサイコロを使って即興的に踊る。 ・よい動きを見付け、友達と伝え合う。	○ 動きを誇張したり変化を付けたりして、メリハリのある表現ができるようにする。 ○ 友達の真似をしながら、即興的に表現できるようにする。 ○ ペアで相手の動きに対応しながら動きに変化をつけたり、感じの異なる動きを意識したりして、ひと流れの動きにして踊ることができるようにする。 ○ グループに分かれて見せ合い、友達のよい動きを見付けることができるようにする。	○ 表現運動に進んで取り組もうとしている。＜態＞（観察） ○ 課題解決のために考えたことを友達に伝えている。 ＜思・判・表＞（観察） ○ 題材の特徴を知り、自己の能力に合った題材を選んでいる。＜思・判・表＞（観察）
4 (本時)	○ 心と体をほぐす。 ・リズムダンスを行う。 「洗濯」の△△な感じを表現するにはどうすればよいだろう？ ○ 表現「からだで絵日記」を行う。 ・イメージサイコロを使って即興的に踊る。 ・よい動きを見付け、友達と伝え合う。	○ リズムの変化を意識して表現できるように見本を見せたり、声掛けをしたりする。 ○ 教師や友達の真似をしながら、即興的に表現できるようにする。 ○ 他のグループの表現を見る際のポイントを確認する(人数の変化や動き方など)。 ○ 伝え合う場面で、子どもが表現に込めた思いや意図に触れさせる。	○ 表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ることができる。＜知・技＞（観察） ○ 場の安全に気を付けて、表現活動に進んで取り組んでいる。 ＜態＞（観察）
5	○ 心と体をほぐす。 ・リズムダンスを行う。 学習のまとめをしよう。 ○ 表現「からだで絵日記」を行う。 ・全グループの表現を見て、感想を伝え合う。 ○ 単元を通しての、自分の動きの変化を振り返る。	○ これまでの学習を意識させて、リズムダンスを楽しめるように声掛けを行う。 ○ これまで行ってきた表現運動の題材を活用して、動きを見せ合ったり、よい動きを見つけ合ったりさせる。	○ 題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫している。 ＜思・判・表＞（観察） ○ 友達の動きや考えを認めようとしている。 ＜態＞（観察・ワークシート）

8 本時の指導（第4時）

(1) 目標

- 表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ることができる。
- 場の安全に気を付けて、表現活動に進んで取り組んでいる。

【知識及び技能】

【学びに向かう力、人間性等】

(2) 準備物

- タブレット PC スピーカー ホワイトボード イメージサイコロ

(3) 展開

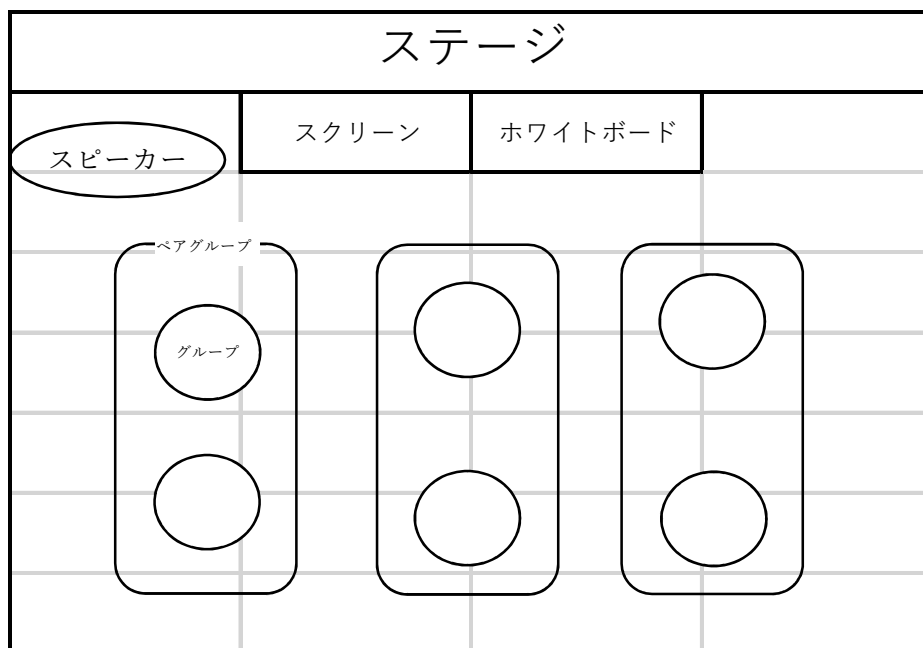
学習活動 (学習形態)	○ 教師の発問 ・子どもの思考の流れ	○ 教師の働き掛け	□ 指導上の留意点 ■ 苦手な子ども・意欲的でない子どもへの支援・配慮 ◎ 評価規準 (方法) 【観点】
1 準備運動 曲に合わせて、楽しく踊る。リズムダンスを行う。 (一斉)	○ 今日はどのように踊ってみたいですか。 ・もっと大きく踊ってみたい。 ・友達の動きを真似したい。	○ 体やリズム、空間の工夫が体験できるようにする。 ○ 踊り方を助言したり一緒に動いたりする。 ○ 面白い動きをしている子どもを見付けて、模倣させる。	□ 子どもが踊ったことのある曲を使用する。 □ 教師や友達の真似をし、即興的な動きを楽しみながら、主運動に向けて心と体をほぐす。
2 課題確認 (1) 前時の学習を振り返る。 (一斉)	○ 表現するときに工夫したのは、どんなところですか。 ・人数を変えたよ。 ・動きを速くしたよ。 ・場面によって動きの大きさを変えたよ。	○ 前時までの活動を振り返り、表現をよくするための工夫を確認させる。 ○ 子どもから出た表現の工夫について、ホワイトボードを使って確かめる。	□ 表現カードで動きのポイントを掲示し、視覚的に分かるようにする。
(2) 題材のイメージをつかみ、課題を確認する。 (一斉)	○ どんな感じ(変化)がしますか。 ・脱水されると固くなってそうだ。 ・洗われているときはゆっくりだね。	○ 動画もしくは画像を見せて、題材がどんな形状(質感)の変化をしているのかを挙げさせる。	□ 課題に合うイメージサイコロを用意する。また、表現しやすくなるよう、イメージしにくいものは画像や動画、音を用意する。
洗濯の△△な感じを表現するには、どうすればよいだろう？			
3 課題解決 イメージサイコロを使って即興的に踊る。 ・表現 ・伝え合い (個人→グループ) ハイリントタイム	○ 手(足)だけを使って、表現してみよう。 ・速さを変えてみよう。 ・体を大きく動かしたら、もっとよく表現できそうだ。 ○ 体全身を使って表現してみよう。 ・にぎやかな様子が伝わるように速く動こう。 ・人数を増やしてみよう。 ・友達と動きを合わせてみよう。	○ 表現したいものに合わせて、動くタイミングや繰り返しを意識して表現できるように声掛けをする。 ○ 体・リズム・空間・友達の工夫について動きながら確認する。 ○ 見る視点を確認する際、今日のポイントを伝える。	■ 動きのイメージがしにくい子どもには、友達の動きを真似するよう声掛けしたり、教師と一緒に動いたりする。 □ グループで見合うことで、表現方法の違いからどのような見え方になるのか問い掛け、表現を工夫しやすくする。 ◎ 表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 (観察) 【知・技】

4 まとめ・振り返り（グループ） 7 分 （一斉） 5 分	○ ペアグループで見せ合って、よかったところや気付いたことを伝え合いましょう。 ・ 繰り返して動いていて、洗われているみたいだった。 ・ 絞られて固くなったところがよく表現されていた。 ○ △△な感じを表現するために、どんな工夫をしましたか。 ・ 同じ動きを繰り返して表現した。 ・ 友達とタイミングを合わせたりずらしたりした。 ○ これからどんな活動をしていきたいですか。 ・ みんなで表現したいな。 ・ 他のグループの表現を見たいな。	○ 本時の学習で意識したことやよかったところを生かして表現するよう声掛けを行う。 ○ 学習課題に対するまとめをする。 ○ まとめの活動について、子どもたちに意見を聞く。	◎ 場の安全に気を付けて、進んで表現活動に取り組んでいる。 （観察）【主体的】 □ 本時の活動を振り返るとともに、子どもからの意見を取り入れて次時の活動内容を決める。
--	--	---	--

9 研究の視点

- 友達と進んで対話し、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊るための手立てが取れていたか。

10 場の設定・補助資料について



ふり返りカード「からだで絵日記」

【第1時】風船・新聞紙 年 組 番()

月 日	よくできた	ふつう	できなかった
楽しくおどれた	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		
友だちと協力した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		

【ふり返り】

【第2時】波

月 日	よくできた	ふつう	できなかった
進んで表現した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		
友だちと協力した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		
表現を工夫した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		

【ふり返り】

ふり返りカード「からだで絵日記」③

【第5時】 年 組 番()

月 日	よくできた	ふつう	できなかった
進んで表現した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		
友だちと協力した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		
表現を工夫した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		

【ふり返り】

ふり返りカード「からだで絵日記」②

【第3時】花火 年 組 番()

月 日	よくできた	ふつう	できなかった
進んで表現した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		
友だちと協力した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		
表現を工夫した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		

【ふり返り】

【第4時】洗たく

月 日	よくできた	ふつう	できなかった
進んで表現した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		
友だちと協力した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		
表現を工夫した	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1		

【ふり返り】
